

半導体産業の魅力  
を語る東京エレクトロ  
ンB Pの阪本  
甚三郎さん  
=合志市



## 半導体の将来性 熊本高専で講演

OBの阪本さん

熊本高専OBで、東京エレクトロンB P（東京）アドバイザーの阪本甚三郎さん（64）＝東京＝が11日、合

志市の同校熊本キャンパスで、半導体産業の将来性について講演した。

阪本さんは1979年、同校の前身・熊本電波高専電波通信学科を卒業し、85年に東京エレクトロン入社。グループ会社の東エレF Eや東エレB Pの社長・会長を経て今年7月から現職。

阪本さんは、世界のデータ通信量が今後10年間で飛躍的に拡大し、半導体市場も倍以上に成長すると指摘。「ビッグデータの時代はこれから。デジタル化と脱炭素の潮流が世界を動かす」と強調した。

東エレ本社は半導体市場の急速な成長に備え、研究開発に今後5年間で1兆円以上投資し、27年3月期までに売上高3兆円を目指すという。合志市や宮城県で

の開発棟の建設計画を紹介。阪本さんは「社会に貢献する面白い仕事で、どの理系学科でも半導体業界で活躍できる」とアピールした。

（深川杏樹）